

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 6/14 第10号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

思い出に残る修学旅行

3年生は、6月4日（火）から6日（木）まで修学旅行に出かけました。行き先は、沖縄県です。沖縄は梅雨入りしていて、天候が心配でしたが、バスでの移動中や2日目朝の伊江島での活動中に雨が降りましたが、概ね天候にも恵まれました。大きなトラブルもなく、全員が元気に京都に帰ってこられたことをまずは喜びたいと思います。

出発当日6月4日（火）朝の結団式で私から4つのことをお願いしました。1つ目は、「全員が元気に出発して元気に帰ってこよう」、2つ目は、「伊江島での民泊などで沖縄の方々とふれ合ってほしいこと、沖縄は太平洋戦争で唯一地上戦が戦われ、多くの住民の方々が犠牲になりました。しかし悲しく、つらい歴史を経験されているのにもかかわらず、沖縄の方々は温かいのです。温かい沖縄の方々に京都の良さを伝え、そして沖縄の良さを実感してほしい」、3つ目は、「修学旅行中に3年生の皆さん多くの笑顔に接したい」、4つ目は、「すでに各自で決めているテーマにしたがってしっかり探究活動をしてほしい、そして帰ってからのポスター発表を楽しみにしている」。お願いした4つのことは実行できただけでしょうか。各自で振り返ってみてください。



修学旅行中に私自身が感じたことをいくつか挙げていきます。まず、沖縄の方々の温かさです。民泊体験でお世話になった伊江島の方々の温かさが特に印象に残っています。2日目の午前中に伊江島の方々に城山をはじめ、いろいろな所に連れて行ってもらいました。私も活動しているいくつかのグループに出会いましたが、どの生徒も笑顔いっぱいでした。伊江島の方々の温かさにふれて、自然と笑顔があふれたのでしょう。民泊体験では家族の一員として受け入れていただき温かく迎え入れていただきました。入村式では少し緊張していた生徒たちでしたが、翌日の離村式では別れを惜しむ生徒が多くいました。伊江島の皆さん、ありがとうございました。

二つ目は、嘉数高台公園での平和セレモニーです。嘉数高台公園には、京都から戦争に送られ犠牲になった方々を慰靈する京都の塔があります。その京都の塔の前で、実行委員の生徒が進行役を務めてくれて平和セレモニーを行いました。平和セレモニーでは、まず黙祷をして、平和宣言を読み上げました。その後、千羽鶴を奉納しました。最後に全員で「翼をください」を合唱しました。嘉数高台公園からはアメリカ軍の広大な普天間基地が見えます。沖縄の現実を垣間見た思いにもなりました。今回の平和セレモニーを通じて、平和を守るために一人一人が何ができるかを考え、実行してほしいものです。



こうして、修学旅行を振り返ってみると、生徒一人一人が力を発揮して充実した修学旅行だったと改めて実感します。修学旅行での経験を今後の学校生活に活かして、さらに充実した、一人一人が輝く学校生活にしていってください。